

令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月30日(土)①-2 担当部局・担当課名:土木部建設技術企画課

事業名	とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業	評価結果	抜本的改善
-----	------------------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】
・建設業に限らず、女性の活躍推進は他の業種でもやっている。オール富山県としてどう効率的に進めるのがよい か考えるべきではないか。
・補助実績を見るとほとんどがトイレの設備改善であり、これは初歩的な環境改善には繋がるが、女性にとっての職 場の魅力向上の本質的な取組みに繋がっていないのではないか。
・建設業は災害対応の役割も担うことから、エッセンシャルになってきており、人材確保・育成に踏み込む必要性は 理解できる一方、他のエッセンシャルな業種(医療・介護、運輸等)とのバランスも考える必要があるのではないか。

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	20
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	5	0	8	5	2 (現行2、拡充0)
県民評価者の 主なコメント	評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 ・入職よりも定着に力を入れ、離職率を減らし、イメージアップを図るべきではないか。 ・女性のみにフォーカスする理由がわからない。環境改善は男女関係なく支援すべきではないか。 ・建設業のみでなく、他の業種でも女性の働きやすさは課題であり、県全体で考えてもらいたい。 ・女性用トイレや休憩室の整備だけでは不十分。現場で働く女性の声を聴き、例えば男性との体力差を埋める対応策(デジタル技術の活用等)の発信なども有効ではないか。 ・職場づくりよりも、人づくり、人材育成に特化すべきではないか。			
	上記以外	【行政の関与不要】 ・女性が働きやすい環境作りは大事だが、個々の選択に任せればいい。 ・補助対象(設備投資や資格取得補助)が効果的なのか、また当事者のニーズなのか疑問。 【一部改善】 ・実際に現場で働いている女性の活躍状況や、どのような仕事内容があるかを具体的にPRすべきではないか。 ・女性と共に働く男性の意識改善も必要。 【現行どおり・拡充】 ・女性に寄り添った現場づくりは、新しく入った社員にも刺さり、将来の人材確保にプラスに働く可能性がある。			

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	3	1	0

事業名	とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業	評価結果	抜本的改善
-----	------------------------	------	-------

【事業レビュー結果を受けた県の対応】

今後の 対応方針	廃止		事業廃止		
	○事業を廃止し、建設業の本質的な魅力向上に繋がる社内の意識改革や、女性技術者の人材育成に取り組む建設企業を支援する新規事業「とやま建設業魅力ある職場づくり支援事業」として実施				
令和8年度 当初予算 要求時 の対応	R8当初予算 (要求額)	-	R7当初予算	2,000(千円)	減額▲2,000(千円)
	増減理由	事業廃止による減			

上記対応方針を受けた新規事業または関連して見直した事業

事業名	とやま建設業魅力ある職場づくり支援事業(新規)
-----	-------------------------

当初予算編成プロセスの見える化

令和8年度当初予算	要求状況	要求額	1,000(千円)		前年度予算額	0(千円)
		事業の目的	女性が主体的に力を発揮し、定着・活躍できる会社風土の改善等に関する建設企業の取組みを支援			
		事業内容	建設企業が行う以下の取組みに要する経費に対し補助 (補助率1/2、上限20万円) ○労働環境改善につながるセミナー等の経費 企業風土の改善や働き方改革に関するセミナー参加費・研修会開催費等 ○女性技術者のスキルアップ支援にかかる経費 施工管理技士の資格取得のために企業が負担する講座受講に係る経費(受講料、教材費等)			
		積算内訳	1,000(千円)			
	予算編成過程における議論など		事業レビューにおける意見を踏まえ、職場の環境改善(設備、装備の改善等)への支援を中心とした事業を廃止し、社内の意識改革に資する取組みや女性技術者の人材育成に資する取組みを支援する事業を新設することとし、建設業の本質的な魅力向上につながるよう抜本的な見直しを実施			
	最終的な予算案	予算額	1,000(千円)		R⑦.2月補正	
		要求時点からの変更点	変更なし			